

Weekly Report



ロータリー:
変化をもたらす

2017～2018年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリー:変化をもたらす
(ROTARY: MAKING A
DIFFERENCE)

2017～2018年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
ロータリーの品格を高めよう!

創立: 1980年(昭和55年)1月10日
会長: 稲葉 徹
幹事: 大嶽 達郎
クラブ広報委員長: 鈴木 健司
例会日: 毎週木曜日 PM12:30～
会場: ヒルトン名古屋

事務局: 460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F
TEL: 052-211-3803
FAX: 052-211-2623
MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL: http://www.mizuho-rc.jp/

第1832回例会

～青少年奉仕週間～
クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

2018年5月17日(木) 曇り 第40回

司会: 松田浩孝会場委員
斉唱: 「我等の生業」
ゲスト: CBCテレビアナウンサー 富田 和音さん

会長挨拶

稲葉徹会長



皆さんこんにちは。本日は最近新聞、テレビ等で話題となっている「ビットコイン」に代表される「仮想通貨」についてお話ししたいと思います。「ビットコイン」とは、一言で言えば「仮想通貨」です。通貨ということからも、コインということからもお金です。円やドル等と同じようにお金であることに変わりありません。お金なので、円やドル等の通貨の単位が存在します。ビットコインの単位は、BTCと表記されます。1円や1ドルのように、1BTC(ビットコイン)と数えられます。しかし、仮想通貨ということからも、円やドル等のように手に取って目に見える形が存在しません。ビットコインは、仮想通貨のため、紙幣や硬貨のような目に見える形では存在せず、電子データとして存在し、不正防止のために暗号技術を用い、ネット上の複数コンピュータで記録を共有、相互監視するブロックチェーンで管理されています。このため仮想通貨はデジタル通貨、暗号通貨と呼ばれることもあります。この仮想通貨の代表格は、サトシ・ナカモトと称する人物の論文に基づくプログラムで管理される「ビットコイン」です。この他にも、「リップル」、「イーサリアム」、「ライトコイン」、「リンデンドル」のほか、最近話題の「ネム」など直近1000種類以上を越える仮想通貨が存在するとされています。仮想通貨は、中央銀行や金融機関を経由せずにやりとりされるので、海外などへの送金や決済時の手数料が安く済むほか、送金・決済時間を大幅に短縮できる利点があります。利用者の信用によってのみ価値が保証されており、国や中央銀行の政策の影響は受けにくいとされています。このため、仮想通貨は金融危機時に資金の逃避先となるほか、投機などで通貨価値が大きく変動する性質があり、ネット上での国境を超えたやりとりが容易なため、取引の匿名性も高く、法律に基づく監視の目も届きにくい。このため、違法取引、脱税、マネーロンダリング(資金洗浄)等に利用されやすく、テロ、麻薬資金の温床となるリスクが指摘されています。2014年(平成26年)にはビットコインの取引所を運営するマウントゴックス社が経営破綻し、約400億円の損失が出ました。このため、2016年(平成28年)に成立した改正資金決済法では、仮想通貨の取引所、交換業者は登録制にされ、取引所に口座を開くときは本人確認を求めることが義務化されました。なお電子マネーを広義の仮想通貨に含める考え方もありますが、電子マネーは商品券のように発行会社が取扱いをやめても残高は払い戻してもらえぬのに対し、仮想通貨は利用者の信用のみに基づいているので、全く価値がなくなるリスクもあるという点で異なります。今年に入ってから、「ネム」の580億円相当の流出という社会問題となった「コインチェック事件」があります。

最後に、仮想通貨の売却に関する税法上の扱いですが、仮想通貨を売却又は使用することにより生じる利益については、原則として「雑所得」に区分され、所得税の確定申告が必要となります。具体的な詳細は、2017年(平成29年)12月1日に公表された国税庁からの「仮想通貨に関する所得の計算方法等について(情報)」を参照頂きたいと思います。

いずれにしても、課税当局は「ビットコイン」の激しい値動きに着目した投機的な取引に対し課税逃れの観点からの重点的な調査をしていくとされていますので、より一層保有している方は注意して頂きたいと思います。

出席報告

田中宏出席委員長

会員65名 出席41名 (出席計算人数48名)

出席率 73.2% 5月10日は補填により94.4%

ニコボックス

田中宏ニコボックス委員長

- 弊社は、今月で創立60年を迎えました。100年企業に向け頑張っていきます。
本多 誠之さん
- 本日の卓話、お忙しい中、富田和音さんにお越しいただきました。よろしく御願い致します。
鶴田 浩さん
- 鈴木淑久さん、先日はお世話になりました。
八木沢幹夫さん
- 昨日、中日の勝利、ワインで乾杯していました。
長谷川 隆さん
- 昨日ゴルフ部会で久しぶりに上位入賞しました。参加された皆さんお疲れ様でした。堀さん、今季初優勝おめでとうございます。
湯澤 信雄さん
- 昨日は、ゴルフ部の皆様お疲れ様でした。鈴木伸一さんバスケ口お見事!!
鈴木 淑久さん

幹事報告

大嶽達郎幹事

- 本日13:40から次年度予定者会議をヒルトン名古屋4F「梅の間」に変更になりました。
- 本日18:00から入会10年未満会員親睦研修会を「店長のひとりごと」にて行います。
- 次週5月24日(木)19:00からRAC・IACとの合同例会をヒルトン名古屋28F「One O Five」にて行います。
- ロータリー手帳をご注文の方には、本日メールボックスに入れてありますので、ご確認下さい。

委員会・同好会報告

ゴルフ部会5月度(第386回)緑ヶ丘カントリークラブ 開催日:5月16日(水)

氏名	グロス	HDCP	ネット
優勝 堀 慎治さん	81	10.8	70.2
2位 湯澤信雄さん	94	21.6	72.4
3位 田中 宏さん	83	9.6	75.4

第387回6月ゴルフ例会は6月8日(金)、三好カントリー倶楽部に開催されます。

卓話

CBCテレビアナウンサー 富田和音さん

デザインの力で勝ち抜く企業になる!

簡単に自己紹介します。CBCテレビアナウンサーとしては定年の60才で一旦退きましたが、現在は主に後輩の育成や、CBCテレビの夕方の番組「イッポウ」にて声のみのナレーションの仕事等を行っています。たまにピンチヒッターとして番組に出演したり、ロケに行く事もあります。2016年3月に、名古屋工業大学大学院工業工学修士の学位を得ました。日本人の平均寿命は、男性が81才です。現在10年に2才ずつ平均寿命が伸びています。30年後の男性の平均寿命は87才になり、健康に生きれば100才まで生きる事も当たり前になってきます。2016年にリング・グラットン著「ライフ・シフト」という本が出版され、爆発的にヒットしました。この本にもありますが、人生設計は100才まで生きる事を前提に考える時代に入ってきたという事です。CBCの定年は60才です。60才で定年退職を迎える方が多い社会ですが、寿命が100才の時代になるとそうはいきません。厚生労働省では、年金の問題もあり、いずれ遠くないうちに定年は70才になるでしょう。定年延長は75才くらいになるでしょうから、70代でも働くのは当たり前になっていくでしょう。さて私は、アナウンサーの仕事は、幸い自分がやりたいと思った仕事はほとんどやらせて頂きましたので、達成感を感じていました。しかし、58

才で役職定年を迎えた頃、80才まで働いたら・・と思いました。その際、ふと浮かんだのが小学校6年生の時の卒業文集でした。そこには将来の夢として、「アナウンサーと建築デザイナーになりたい」と書きました。私が小学生の時、万博で展示されていた建物に感銘を受け、「自分でもこんな建物を建ててみたい」思い、建築デザイナーに憧れる様になりました。当時の情熱を思い出し、次の人生はもうひとつの夢だったデザインの仕事に就こうと考えたのです。全くの文系人間でしたが、名古屋工業大学を受験し、無事入学する事が出来ました。大学では一生懸命デザインの勉強に取り組みました。

さて、デザインの力を理解して頂く為の典型的な例として、明治の「ザ・チョコレート」のパッケージをご紹介します。この商品は2014年に発売されました。当時は全く売れませんでした。明治の社内では、採算が取れず赤字になるので製造を中止しようという声がある一方、反対意見もあり、販売戦略を変える事にしました。通常より少し価格の高い商品だったので、需要のある層を徹底的にリサーチした結果、20代～30代の女性をターゲットにしました。彼女達が週末に自分へのご褒美として、少し贅沢なお菓子を買ってくれるのではないかと考えたからです。2016年9月に、中身はほとんど変えず、パッケージデザインを大きく変えた製品が発売されました。その商品が、2017年に日経トレンドのヒット商品No.2になりました。変更前、2年間で売れたのは100万個です。パッケージ変更後、1年半で4000万個も売れました。一箱が約220円です。2億円ほどの売上が何十倍にも膨れ上がり、88億円になったのです。デザインを変えただけでこれだけの差が出たという事です。これがデザインマジックです。製造業に従事している方は、なかなか商品売り出す為のデザインという段階まで思いを馳せてくれる人は非常に少ないです。しかしなんとかして自分の商品売り出したいと考えている方は多いと思います。私は、この事が一つのヒントだと考えています。大学院へと勉学を進めるにつれ、もっとデザインの力を製造業の方達にも伝えたいと思う様になりました。そして大学院を卒業後、仲間達とデザインをプロデュースする「ナゴヤデザインハブプロジェクト」を作りました。愛知県には製造業者が3万5千社もあります。その皆さんとデザインとをマッチングする様な組織ができれば、もっと素敵な世の中になると思ったからです。

ここで、デザインの発想ではないのですが、私の思い浮かぶ所の成功事例をご紹介します。皆さんもご存知かと思いますが、「愛知ドビー」という会社があり、従業員は145人です。元々、産業機械部品を作る会社で、鋳物作りに非常に自信を持っている会社でした。しかし、業績の浮き沈みやリーマンショックもあり、事業継承を危惧した現在の社長さんが、自分達の技術を活かした新しい商品を事業事にしました。出来たのがパーミキュラという鍋です。価格は1個3万円です。売り出したのは7～8年前で、高額な為最初の3年間は全く売れませんでした。そこで、戦略として超有名な料理ブログを書かれている方に無償で鍋を提供し、その鍋を使った料理をブログでアップしてもらいました。結果、ブログを見た日本中の若い女性達が「価格は高いけれど、こんなに簡単に美味しい料理が出来るなら購入したい」という方が増え、爆発的な人気商品となりました。売上のピークは3年程前で当時は入手するのに1年待たなければなりませんでした。現在は3、4ヶ月程で入手する事ができ、外国にも輸出されています。この様に、ネットを上手く使う事も大事ですが、きちんとしたマーケティングや出口戦略をしなないと簡単には売れません。製品をきちんとプロデュースする人が必要であるという事です。コンサルタント会社はありますが、主に会計に紐付いたコンサルタント会社というのは、殆ど見当たらないのです。特にB to Bの会社は、何処に相談したらいいのかも解らないという会社が多いのが現状です。ナゴヤデザインハブプロジェクトを作るに当たり、私も色々な所へ足を運びました。商工会議所を始め、様々な組織の話も聞きましたが、この様な一連のコンサルタントが上手く出来ていないという事が分かりました。デザインというのは、例えばカーデザインや、いわゆる形あるデザインを思い浮かべると思いますが、決してデザインの持つ力はこれだけではありません。皆さんHPをご覧になると思いますが、これもデザインです。Googleですとシンプルなトップページになっていますね。ソネットではニュースの表示やバナー広告等もあります。どの様にすればより多くの人の興味を惹けるのかを考えるのがデザインです。製造業の方はわかると思いますが、マザックやファナック等の工作機械のインターフェイスもデザインされた物です。生産現場の中では、工場の従業員がこういったインターフェイスを使用し製品を作っていきます。インターフェイスの入力の画面を使いやすくする事で、パートの方でも簡単に使える様にする、それを可能にするのもデザインの力です。さらにスマートフォンでも例を挙げると、様々なコンピュータ機器をどの様に埋め込んでいけば、小さなスマートフォンのパッケージの中に収められるかを考えるのもデザインの仕事です。この様な事を皆さんに理解して頂き、実際に取り入れて頂く為に、我々はナゴヤデザインハブプロジェクトを立ち上げました。愛知県内には大学が49校あります。その内12校の大学にデザイン関係の学部学科コースがあります。全国的に見ると、東京は大学の数も多い為、デザイン関係の学校も多いです。大阪は名古屋とほぼ同数ありますが、その内デザインのコースがあるのは6校です。京都は少なく、4校か5校です。この事からも分かるように、理由は分かりませんが愛知県はデザイン特区と言っていい程の集中具合です。それだけデザインについて学ぶ人達が多くなるにも関わらず、デ

ザインを活かせる就職先はあまりに少なく、一般企業で営業職に就く学生達が多いという現実があります。デザインを学ぶ学生達や、現役でデザインに携わる人達が持っているポテンシャルを、製造業と上手く繋げたいと考えています。また当然この地方の産業振興ですので、付随して行政も結びついていく。そうすれば地域が活性化され、わくわくした街になるのではないかと思っています。

一つ事例をご紹介します。新城市に株式会社本多プラスというプラスチック加工メーカーがあります。会社の歴史は70年程あり、現在の社長は3代目です。時代と共に様々なプラスチック製品を作られてきた会社で、数々のヒット商品もあるそうです。昔、毛筆の先にプラスチックのケースが付いていたのを覚えているでしょうか。あのプラスチックのケースは、本多プラスさんがほぼ100%作っていました。しかしB to Bの企業なので、自社製品の値段が付けられない。例えば原価が100円商品があるとします。利益を出す為に110円で販売したくても、買い取ってくれる企業が90円での納品を求められたら、10円赤字です。赤字を出さない為、経費を削ってなんとか原価を89円に収め、90円で売って1円儲けになるという小利益しか出ない仕事をしていました。現在の社長さんが専務の時、外国で色々な事を学んだ事もあり、このままでは会社を存続するのが難しくなると予期しました。そこで、社内の強い反対を押し切り、東京の南青山にクリエイティブオフィスを作りました。そこで、デザイナーに商品デザインから商品作り、営業まで担当させ、販売する様にしました。デザイナーの採用試験の際には、新城市という何処にあるの分からない会社のデザイナーになりたい学生がいるのかと思われましたが、戦略を立てて応募を募った結果、1000人も学生が応募してきたそうです。なかには東京芸大の学生さんも含まれていたそうです。採用されたのは3人です。結果、クリエイティブオフィスが出来る以前は年商5億でしたが、現在は年商50億の会社になりました。10年かかりましたが、デザインのおかげで10倍になったという事です。もう一つ例を挙げます。岐阜県美濃市に有限会社シオンという会社があります。従業員は10人です。主に航空機の部品を作られている会社です。この工作機械で作られているのは、超々ジュラルミンという非常に特殊な金属で、金属加工を得意としています。この会社では、毎日毎日工作機械のインターフェイスで入力し、部品を作るだけの作業でやりがいを感じられず、辞めていく人が多い上、田舎なので従業員の確保が難しいという悩みがありました。そこで会社の社長は、東京から工業デザイナーの先生を呼び、10人の従業員に工業デザインを学ばせました。そして従業員達に、材料と工作機械を提供し、それぞれに好きな物を作らせました。結果、ジュラルミンで出来たデザイン性のある商品が出来上がりました。東京でいくつか試験販売をした所、商品が注目され、今では大手のホテルから引き合いがきています。例えばジュラルミンで出来た2万円の高額なボールペン等、富裕層に向けた商品などです。従業員の方も休みの日にまで出社し、工作機械での物づくりを楽しんでいる様です。

この様な成功事例があるように、こういった会社をもっと増やしていきたいと考えています。デザイナーやデザインを学ぶ学生達と、製造業の皆さんをマッチングするような組織にしていきたいという想いで取り組んでいます。過去に3度、製造業やデザイナーの方達が集まってコミュニティの形成を図れる様なイベントを開いています。現在、2022年に拠点となる事務所を開設する予定で、事務所開設予定のビルのデザインを含めて今動き始めています。我々はこの地域の企業の皆さんを支えたいと考えています。利益を目的とする組織ではなく、地域の製造業を活性化していければ嬉しい限りです。今回のイベントは7月に開く予定です。もしご興味があればご参加下さい。できれば若手のやる気のある従業員をイベントに派遣して頂ければ、素敵な事が起きるのではないかと考えています。ありがとうございました。



例会のご案内

- 今週の行事 5月24日(木) RAC・IACとの合同例会
時間：19:00～20:30
場所：ヒルトン名古屋 28階「One O Five」
- 次週の卓話 5月31日(木)
テーマ：富士ゼロックスの地域創生プロジェクト
卓話者：富士ゼロックス(株)
GCS事業本部グループ長 金澤 勝美さん
- 次々週卓話 6月7日(木)
テーマ：日本のものづくりとミラノサローネレポート
卓話者：特定非営利活動法人
メイドインジャパンプロジェクト理事 鶴田浩さん